

Ritton™

[リットン]

取扱説明書

この取扱説明書は必ずお読みいただき、大切に保管してください。



このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前に、必ず「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
車いすの改造は、当社の許可なく行わないでください。



注意

●この表示欄は、『傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される』
内容です。



警告

●この表示欄は、『死亡または重症に至る可能性が想定される』内容です。

目次

ご使用前の注意	1	<サポートクッション・ガードフレーム>	5
安全にご使用いただくために	1	<充電器>	5
各部の名称	3	<バッテリー>	5・6
ご使用になる前に	3	仕様	6
<試乗する際の注意点>	3	Ritton™の特長	7
<ホイールロック>	3・4	<立位状態による身体的・精神的効果>	7
各部の使用法	4	<立位状態での使用例>	7
<安全シートベルト・膝当てパット>	4	電動ユニット	8
<リモコン>	4	<構成パーツ>	8
<背もたれ・座面>	4	<トラブルに関するQ&A>	8・9・10



ご使用前の注意

- 車いすを使用して、お客様に便利で満足の日常生活を送っていただくために、使用上の注意を守って、安全にお使い下さい。
- 車いすを快適にご使用いただくために、必ず安全確認をして下さい。
- 試乗される前に、必ず取扱説明書を全ページお読み下さい。
- 安全にお乗りいただくために、車いすの使用方を理解していただく必要があります。
- 安全でない使用方法によって、器物の損壊や人身的な事故を招いた場合、当社では一切その責任を負いません。
- また、誤った使用方法によって、器物の損壊や人身的な事故を招いた場合も、当社では一切その責任を負いません。
- 取扱説明書には、現時点で最新の仕様と製品情報を記載しております。本製品に特注の部品を加えたり、仕様を変更する場合には、当社に変更作業を引き受ける権利があります。
- 保証書をよく読んで、検定済みの印証をご確認ください。また、保証書は大切に保管してください。
- 本製品の取扱説明書は、本製品の一部分です。
本製品を他者に譲渡する場合には、取扱説明書も添えることをお忘れなく。
- 本製品を使用する際には、取扱説明書を必ず携帯してください。万一、解決不能なトラブルが生じた場合や、取扱説明書に沿った安全な乗り方が不可能な場合には、当社が公認した販売業者にご報告ください。



警告

- 当社が許可していない方法で、本製品を改造しないでください。許可されていない改造は、怪我の原因であり、本製品を損壊させる恐れがあります。

安全にご使用いただくために



警告

- 初めて車いすを操作する際に、取扱説明書を最後までよく読まず、理解しないままに操作する様なことは、絶対にお止めください。

<初めての操作>

- 初めて車いすを操作する際は、ご家族や友人に付き添っていただくことをお勧めします。

<数多く練習をこなすこと>

- 日常生活の場で、車いすを使い始めると、もう少し練習が必要だと感じる場面に遭遇するでしょう。その時は、ゆっくり時間をかけて練習することをお勧めします。ドアの開け閉め、エレベーターの乗り降り、傾斜面の走行に慣れるように練習して下さい。

<公道での使用を控える>

- 走行中のドライバーは、車いすを見落としがちです。公道での車いすの使用はなるべくお止めください。

<階段やエスカレーターでの使用禁止>

- 階段やエスカレーターをご利用の際は、車いすをお使いになるのはお止め下さい。

<エレベーターを使用する際の注意点>

- エレベーターに乗ろうとして、扉が閉まりかけた場合、ゴムの縁がついた扉の端の部分の横に強く押し、車いすの横幅のスペースを確保してください。すると、扉は再び開きます。

<ドアの開け閉めの際の注意点>

- ドアを開ける際には、そのドアが押すタイプなのか、引くタイプなのかを確認してください。ドアのタイプに合わせて、ドアを押ししたり引いたりして、ゆっくりと車いすを前や後ろの方向に走行させてください。

<前かがみや、座席の後ろにもたれる行為の禁止>

- 車いすに乗りながら、座席の後ろにもたれかかったり、物を拾うために前かがみになることは絶対にお止めください。止む終えず、床に落ちた物を拾う場合であっても、膝を折り曲げて、床に近づくことはたいへん危険です。このような使用方法は、重大な損傷を引き起こす可能性があります。

<バッテリーに関する注意点>

- 車いすに搭載されているバッテリーは、かなり重量があります。仕様一覧表でご確認ください。バッテリーを持ち運ぶことができない場合は、どなたかの助けを借りてください。無理な動作は、怪我を招く恐れがあります。
- いかなる場合でも、バッテリーを凍らせることは避け、凍った状態で充電するようなことは決してしないでください。バッテリーが損壊し、お客様に怪我を負わせる恐れがあり、とても危険です。

<処方薬の服用/服用後の使用制限>

- 処方薬を服用したり、お店で買った薬品を服用している場合は、車いす の操作に影響がないか医師に相談してください。

<アルコール摂取後の使用禁止>

- 飲酒後または、薬の影響がある場合には、車いすに乗りませんようにお願いします。医師からの処方を受けていて、車いすに乗ることに不安を感じておられる方は、医師へご相談ください。

<重量に関する注意点と禁止事項>

- 座位状態でフットプレートに全体重をかけることは、お止めください。(転倒し怪我をする恐れがあります)
- 車いすは、一人乗り用です。乗り合いは、絶対にお止めください。

<坂道や障害物のある場所での注意点と禁止事項>

- 坂道や傾斜面では、ゆっくりと進んでください。
- 10°以上の傾斜面では、昇り降りやしないでください。
- 坂道で止まらなければいけない時は、ゆっくりと減速してください。
- 長時間、傾斜面を昇ることは、お止めください。
- 坂道を下るときは、最低速度に合わせ、前進のみをお願いします。
- どんな坂道や傾斜面であっても、停止している時にフットブレーキの解除は決してしないでください。車いすに座っている場合も、その横に立っている場合も、危険です。
- いかなる段差、曲がり角、その他の障害がある場所で、車いすを後進させることは止めてください。



警告

- 急カーブを曲がる時は、減速してください。急に加速すると、転倒し落下する可能性があります。怪我や器物損壊を避けるために、カーブを曲がる練習を行ってください。

<悪天候の際の注意点>

- 凍結した路面や、滑りやすい状況、海面では、車いすをお使いにならないでください。車いすの安定性を低め、事故や怪我につながります。
- 雨、雪、霧、洗い水など、車いすを水気にさらさぬ様ご注意ください。車いすが損壊します。水気にさらしてしまった場合には、車いすが完全に乾燥するまでご使用にならないでください。

<階段で車いすを移動させる際の注意点>

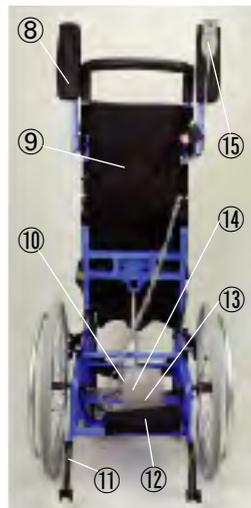
- 階段で移動しなければならない場合でも、車いすに乗ったまま移動することはたいへん危険です。車いすから降り、車いすだけ運んでもらえるように手助けしてもらうことが必要です。
- 車いすを持ち上げる時に、取り外し可能な部品を持たないでください。車いすが損壊し、怪我をする恐れがあります。

<エレベーターが利用できない状況で、止む終えず階段を利用する場合の注意点>

- 車いすに乗車している人は、車いすから降りてください。
- 車いすを運搬する際に重いと感じられた場合は、バッテリーを取り外してから運搬してください。
- 車いすの固定された部分を持ち、車いすを持ち上げ、上の階または下の階へ運んでください。
- 階段の上り下りの際は、最後の一段まで注意を払い、平らな床で車いすを下ろしてください。

各部の名称

- ① 無段階調整機構
- ② 後輪
- ③ 車軸位置調整
- ④ 幅広キャスター
- ⑤ フットサポート
- ⑥ 膝当てパット
- ⑦ 安全シートベルト
- ⑧ 幅広アームサポート
- ⑨ 収納ポケット
- ⑩ アクチュエーター
- ⑪ 転倒防止バー
- ⑫ コンセント収納袋
- ⑬ 電動ユニット
- ⑭ バッテリー
- ⑮ リモコン



ご使用になる前に

- バッテリーの充電を満タンにしてください。

<試乗する際の注意点>

- 車いすの周りに、衝突する恐れのある人やペットなどがいないか。また、障害物になるようなものがないかを確認してください。
- 起伏の激しい道や、傾斜面のきつい道が周りにあるかどうか確認してください。
- 正しい位置（座位）に合わせて、座っているか確認してください。
- シートベルトは安全のため、ロックされているか確認してください。



警告

- 転倒や怪我を防止するため、座面の奥の方にお座りください。
- フットプレートの上に乗って、車いすに乗り込んだり、降りられる時に、立ち上がらないでください。

<ホイールロック>

- 止まっている状態で製品を動かさないようにする場合は、ホイールロックをホイール方向に動かしてください。反対に動かすと、ホイールロックは解除されます。
- ホイールロックを固定しているナットが、しっかりと締まっているか確認してください。
- ロックをかけていない状態では、ホイールがスムーズに回るか。逆に、ロックをかけた状態では、完全にロックがかかっているか確認してください。

ロック



ロック解除





警告

- ホイールロックは、ブレーキをかけることを目的とした機能ではありません。意図せずにタイヤが転がることを防ぐ装置です。
- ホイールロックを使用するには、必ず左右のホイールにロックをかけてください。片側だけのロックをかけた場合は、車いすが傾きます。
- ホイールロックは、走行中の車いすを停止させることを目的に設計されたものではありません。

各部の使用法

<安全シートベルト・膝当てパット>

- 車いすを立位状態にする前に、必ず安全シートベルトと膝当てパットを装着させてください。
- 安全シートベルトと膝当てパットの装着は、必ず座位状態の時に行ってください。



①と②の安全シートベルトを装着
(必ず座位姿勢の状態で装着すること)



座位状態
(③の膝当てパットを装着)



立位状態

<リモコン>

- リモコンを操作する際は、バッテリー残量メーターに注意しながらお使いください。



警告

- リモコンの操作は、必ず安全シートベルトと膝当てパットを装着してから行ってください。未装着が起因となる事故や怪我については一切の保証を致しません。

<背もたれ・座面>

- 背もたれは、調整ベルトによって、張り具合を調整できます。
- 座面は、座面裏側の面ファスナー（マジックテープ）によって、張り具合を調整できます。

- ① リモコン (バッテリー残量メーター)
- ② 調整ベルト
- ③ 座面



<サポートクッション・ガードフレーム>

- サポートクッションは、背もたれの腰の位置を調整する際などにご使用ください。
- サポートクッションは、利用者の用途・目的に合わせてお使いください。
- ガードフレームは、安全シートベルトと膝当てパッドに加えて、さらに体を支える必要がある場合に、お使いください。



①サポートクッション（写真はサポートクッションの使用法の一例です）

②ガードフレーム



注意

- サポートクッションとガードフレームは、付属品ではなく、オプションパーツです。
- オプションパーツが必要な場合は、別途ご注文ください。



<充電器>

- Ritton の充電器は、AC100V-110V、DC24V/0.5Aです。
- 充電中は、緑色のランプが点きます。充電完了後は、緑色のランプが消えます。
- 通常、充電には5時間を要します。



警告

- 24時間以上充電し続けることはお止めください。

<バッテリー>

- バッテリーを充電する時は、バッテリーを消耗し尽くしてから充電してください。
- バッテリーを充電した後、40時間以内にプラグを抜いてください。
- バッテリーの使用頻度が少ない場合であっても、3ヵ月に1度はバッテリーを満タンにしてください。



警告

- 絶対にバッテリーのキャップを外したり、水気にさらしたりしないでください。
- 空気のない場所で、バッテリーを使用しないでください
- バッテリーの酸に触れると、失明や火傷をする恐れがありますので、くれぐれもご注意ください。
- 万が一、バッテリーの酸成分が眼の中に入ったり、皮膚や服や書類に附着した場合は、出来る限り早く水でよく洗い流してください。



警告

- もしも、酸成分を誤って飲み込んでしまった場合には、大量の水を飲み、ただちに医師の診察を受けてください。
- 車いすを運ぶ際は、車いすとバッテリーをよく確認しながら運んでください。



注意

- バッテリーが劣化すると、通常のバッテリーの状態と比較して、使用時間が短くなります。
- バッテリーを満タンにした状態で使用時間が半分近くになった場合には、速やかにバッテリーを交換してください。
- 2つのバッテリーを一緒に交換することで、最大限の効果が現れます。

①日常のお手入れ

- 長時間の走行、または使用後、バッテリーを充電してください。
- 車いすを使用しない時は、湿気防止用の布をかぶせて、乾燥した場所に保管してください。
- 車いすを使用した後は、乾燥したタオルでよく拭いてください。水気を含んだタオルで車いすを拭くと、部品を損壊させてしまう恐れがあります。
- ベンジン、ガソリンの使用は、車いすの表面を傷つけます。

②月に1度のメンテナンスを必ず行ってください。

- 接続した部品が緩んでいないか、よく確認してください。
- コントローラーやバッテリーのネジがきつくしまっているか確認してください。
- 3ヶ月に1度は、バッテリーを充電し、効率の良い状態を保ってください。

③6ヶ月に1度のメンテナンス

- 車軸から異常な音がする場合は、前輪・後輪をチェックしてください。

④1年に1度のメンテナンス

- 当社製品を扱う販売業者に、メンテナンスをお申しつけください。

仕様

<標準規格・塗料・バッテリー・標準装備・オプションパーツ>

型式	サイズ	全長 (mm)	全幅 (mm)	全高(mm)		座高 (mm)	座幅 (mm)	座奥 (mm)	背高 (mm)	重量 (kg)	前輪 (インチ/視)	後輪 (インチ/視)	塗装			耐荷重
				座位時	立位時								SR(赤)	SFB(青)	YC(黄)	
LY-ESA-130K	ジュニア	1045	555	860	1310	475	340	340	370	29.9	4 PU	20 PU			○	120kg
LY-ESA-130S	S	1045	595	915	1355	500	380	340	380	30.2	6 PU	22 PU	○	○		120kg
LY-ESA-130S	M	1045	595	900	1430	500	380	400	380	32.6	6 PU	22 PU	○	○		120kg
LY-ESA-130M	L	1045	635	900	1455	500	420	425	380	32.9	6 PU	22 PU	○	○		120kg

仕様塗料	型式
レッドメタリック	YS-9202
ブルーメタリック	YS-7614
黄色	YS-719

バッテリー型式	LAK2B-2-DO-110-GE
種別	Rechargeable Sealed Lead-Acide Battery(鉛電池)
認証機関	ISO9001 CE MH16892
Vount	DC 24V
Vin	100V~110V
Cycle use	14.4~15.0V(20°C)
Weight	2.6kg
使用回数	1度の充電で70回の使用が可能
メーカー	HIWIN MIKROSYSTEM CORP

標準装備
残量メーター付きボタン式リモコン
シート・座面クッション
安全シートベルト(大腿部・腹部)
スリッパ・六角レンチ(4mm/5mm)セット

オプションパーツ
フロントガードフレーム
フィッティングサポートクッション

(オプションパーツは、別途注文が必要です)

<立位状態による身体的・精神的効果>

- 長時間の座位状態から開放されることによって、足関節の収縮を予防します。
- 内臓疾患を予防します。（腸・膀胱機能の低下を防ぎます。）
- 体圧を分散させる効果があります。（長時間の座位状態から開放し、体圧の痛みを防ぎます。）
- 骨粗鬆症の予防やカルシウム量の低下を緩和させます。
- 立位状態により活動範囲が広まり、自信を高め、精神的ストレスを克服させることにも繋がります。
- 脚に体重をかけて、体を支えるトレーニングが可能です。
- 低血圧を防ぎ、心肺機能を改善させる効果があります。
- 立位状態により、働く能力を高め、自発的行動による機会を増やすことに貢献します。
- 立位状態を繰り返すことにより、運動能力や適応能力を高度化させることに貢献します。

<立位状態での使用例>

- 座位状態から立位状態へと身体の姿勢を変えられることにより、座位姿勢では出来なかった行動や作業をすることができます。
- 立位状態では、座位状態とは異なる視点で物事を見ることが出来たり、他者とコミュニケーションを交わしたりすることができます。



(写真は、立位状態での使用方法の一例です)

電動ユニット

<構成パーツ>

●電動ユニットは、写真の4つのパーツで構成されています。



①ユニット本体



②バッテリー



③アクチュエーター



④リモコン

<トラブルに関するQ&A>

Q1. 製品に起因する事故が起こった場合、どのように対処すればよいのか？

A1: 設計及びサンプルなど開発の段階で、製品の安全性を考えております。また、それらに関する安全性のテスト（道路を走っている状況を模擬したテストなど）を実施しております。製品自体に問題があり、事故が起こったという報告は現在ございません。

Q2. 消費者の誤使用・不注意による事故を防ぐための注意すべきことは何か？

A2:

- 製品を使用する環境の推奨温度は、+5度～+40度です。（+41度F～104度F）
- ユニットモーターの運転率（DUTY CYCLE）は、10%。この運転率の定義は、連続2分間運転し18分間休憩させてください。
- 先に、電池の残量を確認してください。電池残量が少ない場合は、充電してください。
- 定期的に充電することを心がけてください。長期間使用しない場合は、電池の寿命を維持するために、最低でも3ヶ月に1回は充電してください。
- 使用する時は、安全ベルトを着用して、足や膝は適正な位置に調整してください。
- ユニット、アクチュエーター、リモコンを外さないで下さい。外した場合当社は一切の責任を負いません。
- ユニット、アクチュエーター、リモコンを水にさらさないでください。機能なくなる恐れがあります。
- 立っている状態で、車椅子を動かしたり、安全ベルトを外したりしないで下さい。転倒して、怪我の恐れがあります。

- リモコンが作動しない場合は、各接続部分が接続されているかよく確認してください。
- 定期的に、各部分を固定するネジに緩みがないかを確認したり、締め付けを行ってください。
- アームレストに大きなガタつきがある場合は、アームレストを固定しているネジや、アームレストの回転を調整するネジなどが、きちんと締め付けられているかよく確認してください。

Q3. 海外に出荷した同製品が事故を起こした事例などの報告が、過去にありましたか？

A3：海外での事故報告は、一切ございません。

Q4. 電動アクチュエーターの故障時の対処法について、教えてください？

A4：

- (a) まず、各電動設備の接続部分がきちんと接続されているか確認してください。きちんと接続されている場合は、(b)へ読み進めてください。
- (b) 次に、バッテリーの残量が確実にあるか確認します。バッテリーの残量が不足している場合は、充電してください。
充電しても動かない場合は、新しいバッテリーに交換してテストを行います。
バッテリー交換後に動いた場合は、交換する前のバッテリーの不具合が原因であったり、あるいは、ケーブルがきちんと接続されていなかった接触不良による故障の可能性が高いでしょう。
新しいバッテリーに交換しても動かない場合は、(c)へ読み進めてください。
- (c) 新しいユニットとバッテリーを用意してください。(機能が正常か確認してください)
車いすに付いているアクチュエーターとリモコンに、用意したものを接続します。アクチュエーターが作動しているか確認をしてください。
作動した場合は、ユニットが壊れていることとなります。その際は、ユニットを交換してください。
作動しない場合は、ユニットが壊れている事が原因ではないので、(d)へ読み進めてください。
- (d) 新しいアクチュエーターを用意してください。(機能が正常か確認してください)
車いすに付いているユニット、リモコン、バッテリーにつなげてください。動いた場合は、ユニットが壊れていることとなります。ユニットを交換してください。それでも動かない場合は、ユニットが壊れている事が原因ではないので、(e)へ読み進めてください。
- (e) 新しいリモコンを用意してください。(機能が正常か確認してください)
アクチュエーター、ユニット、バッテリーと接続して動いた場合は、リモコンが故障の原因です。
新しいリモコンに交換してください。

Q5. 立位状態の時にバッテリーが切れた場合、どのように対処すればよいのか？

A5：充電用ケーブルのプラグをコンセントに差し込めば、即座ることができます。
使用中にもうすぐ電源がなくなる表示があった場合は、すぐに充電を行ってください。
また、充電中のリモコン操作は、なるべく控えてください。

**Q6. 電池残量メーターは、残量表示を示すものなのですか？
それとも、電流の強さを表示するものなのですか？**

A6：電池の残量表示を示すものです。

Q7. 取扱説明書には、バッテリーは3ヶ月に1度必ず充電するように表記があります。3ヶ月を超えて使用しなかった場合、バッテリーが使用できなくなるのですか？（充電も出来なくなるのですか？）

A7：バッテリーを製品に組み付けた状態での長期間の保管は、電気回路のプレートや部品に潜んでいる微弱な暗電流によって、バッテリーは自然漏電します。そのため、製品を使用しない場合であっても、毎月バッテリーの電量を検査し、適時に充電を行ってください。

また、長期間充電しない状態にしておくと、暗電流の影響で漏電を招くだけでなく、バッテリー本体の劣化を早めてしまいます。

一方、バッテリーを製品に組み付けていない状態であっても、毎月バッテリーの電量を検査し、適時に充電を行ってください。充電を頻繁に繰り返すことにより、バッテリーの過度の放電による劣化を防ぐことができます。

また、バッテリーを保管している場所の温度が高い場合は、電量を保てる時間が相対的に短くなります。一般的にバッテリーは、常温下（20度～30度）で保管してください。



●保証書

この保障は、当社の製品をご購入いただいた方、もしくはご利用者のみに適用します。保障サービスをご利用になられる場合には、購入時のレシートが必要になります。購入後30日以内に、保障書類の必要事項に記入し、当社へ返却してください。この保障は、部品の欠陥と以下の期間内での使用にて有効です。

メインフレーム：5年

走行操作：1年（コントローラー、モーター、ブレーキを含む）

充電器：1年

●例外の保証事項

- ① ABS樹脂製の布地、フットレスカバー（保障対象外）
- ② バッテリー（保障期間6ヶ月）
- ③ タイヤ、タイヤチューブ（日常生活による消耗および破損などは、保障対象外）
- ④ 座席の布張り地（日常生活による消耗および破損などは、保障対象外）
- ⑤ 製品の修理時には、人件費、通信費、送料、その他の支払いが発生する場合がございます。

ご購入になった方、または、ご利用者がフレームやその他の部品に欠陥を発見され、その欠陥が製造元であると考えられた場合、当社が部品を修理もしくは、交換します。この場合、製造側の人件費は保証内容に含まれておりません。しかし、交換部品の価格や追加料金については、卸売業者またはサービスセンターが負担します。すべての送料と搬送途中に起こった修理済み製品の損害は、ご購入者の責任となります。保障事項について、ご不明な点など御座いましたら、製品を購入された販売業者や卸売業者に御連絡ください。

●保障対象外になる事柄（当社独自基準）

- ①当社が公認する規定のマークがない場合。
- ②不正な行為をした場合（車体番号をはがしたり、あるいは、それをこすって読み取れなくするなど）
- ③当社製品以外の部品を使用して、改造した場合。
- ④使用者の不注意による製品の破損。
- ⑤誤った使用方法による製品の破壊。
- ⑥当社の同意なしに部品を取り付けた場合。
- ⑦当社が管理する範囲を超えた使用方法によって、製品が破損した場合。

●その他の保証対象外になる事柄

- ①当社の規定に従わず、定期的な点検を怠った場合。
- ②誤った使用方法で製品を扱った場合。
- ③取扱説明書に沿った操作方法をしなかったり、規定の体重枠を超える方が使用したりなど、製品の使用限度を越えた使い方をした場合。
- ④余分な部品や付属装置を取り付けた場合。
- ⑤不適切な場所や異常な環境で走行した場合。
- ⑥当社が認めていない変更や改造をした場合。
- ⑦煙、医薬品、化学物質、鳥のフン、塩、酸性雨、落石、金属片、その他、外部の部品によって、製品の損害を被った場合。
- ⑧台風、洪水、火事、地震、その他、自然災害によって、製品が破壊した場合。

当社は、間接的な理由によって起こった損害や、偶発的に起こった損害に関しては、責任を負いません。



カナヤマ HUMAN SOLUT
マシナリー株式会社

ISO9001:2000、ISO14001:2004 認証工場

荻生工場 〒938-0801 富山県黒部市荻生388-1 TEL 0765-57-3888 FAX 0765-57-3266

東京営業所 〒185-0003 東京都分寺市戸倉1-23-3

輸入・総販売

TEL&FAX 042-316-8738

Ritton[®] [リットン] に乗車される際の手順と注意点

※ 写真の順番に従って乗車してください。



ロック



ロック解除

① 乗車される前は、ホイールロックを必ずかけてください。ホイールロックが、しっかりとかかっていることを確認してから、乗車してください。



② 乗車される前は、必ずフットサポートを外した状態においてください。乗車後、左右にフットサポートを取り付けて、そこに足を乗せてください。最後に左右のフットサポートを連結させたか確認してください。



③ 座位状態のまま乗車される場合は、膝当てパット、安全シートベルト（腹部と大腿部の2箇所）を装着する必要はありませんが、立位状態にする場合には、必ず膝当てパット、安全シートベルト（腹部と大腿部の2箇所）を装着してください。



警告

●膝当てパット、安全シートベルト（腹部と大腿部の2箇所）の装着は、必ず座位状態で行ってください。



④ 背もたれは、調整ベルトの張り具合で調整することができます。

⑤ 座位状態から立位状態への切り替えは、リモコン操作で行います。その際、バッテリー残量メーターに注意しながらお使いください。



警告

●リモコン操作の際は、必ず膝当てパット、安全シートベルト（腹部と大腿部の2箇所）を装着してから行ってください。



DOWN

座位状態



UP

立位状態

UP (左)

DOWN (右)



バッテリー残量メーター